

小・中学校適正配置に関する意見交換会 開催状況

会場（小学校体育館）		西明寺	生保内	桧木内	白岩	神代	角館	計
日時 ※令和5年		7月6日	7月10日	7月11日	7月12日	7月13日	8月3日	
		木	月	火	水	木	木	
		18:30-20:00						
内容		○小・中学校の適正配置方針について説明（教育委員会から） ○意見交換テーマ ① 学年の人数規模 ② ①を実現する方法 ③ 心配や期待						
出席者	中学生までの 子どもの保護者	3	8	4	11	12	6	44
	その他	1	1	2	2	2	4	12
	計	4	9	6	13	14	10	56

学校適正配置に関する意見交換会（要旨）

令和5年7～8月実施

※共通の内容に着色

テーマ	西明寺	生保内	桧木内	白岩	神代	角館
望ましい学年の人数規模	(小) 15～60人 (中) 15～80人	1クラス15～30人 1学年2クラス	(小) 15～60人 (中) 15～100人	1クラス20～25人、3クラス	(小) 60人、30以内×2クラス (中) 60人、30以内×2クラス	(小) 25人×3クラス (中) 30人×3クラス
	↑ 複数学級になる意見に着色	(小) 理想70人、現実30人くらい (中) 理想70人、現実30人くらい	(小) 20～30人 (中) 20～30人	(小) 20～30人、1クラスでもよい (中) 30～39人、2クラス以上	(小) 60人、30以内×2クラス (中) 60人、30以内×2クラス	(小) 20人×2クラス (中) 20人×3クラス
				1クラス20～30人 1学年2クラス以上	(小) 1学年40人くらい、2クラス (中) 1学年40人くらい、2クラス	(小) 25人×2クラス (中) 25人×3クラス
上記の規模を実現する方法	・旧3町村ごとで統合 ・統合して、小中一貫校	・旧3町村で小中1校ずつに統合 ・曜日や日課によって、リモート授業 ・他県から受け入れ、寮を作る	・小中とも1校に統合 ・角館をのぞく4校を統合 ・統合して小中一貫校（一体型） ・統合して小中一貫校（併設型）	・小・中1校ずつに統合 ・旧3町村で小・中1校ずつに統合 ・オンライン授業 ・寮制度（他地域からも来てもらう） ・小・中ともに、もっと統合する	・中は全部統合して1校に ・小は角小以外を統合 ・中は小より広範囲で統合 ・統合（他1）	・通学距離・時間を考慮した統合 ・理想人数のために統合 ・義務教育学校 ・教員の確保 ・教育・学力向上 ・特色ある学校づくり （姉妹校締結、留学システム）
心配	・通学方法 ・スクールバス	・送迎、通学時間 ・公共バスや電車の利用を考えてほしい ・地域ごとのいじめ ・人数が増えると勉強について行けなくなるのでは ・統合校周辺の人口が増え、他が廃れる ・通学が大変→生活と仕事の両立大変→学校がない地区に住めない ・人口減→統合→人口減…の繰り返しになるのでは	・通学距離・時間・手段（他2） ・いじめ ・先生の目が行き届くようになるのでは ・地域行事への参加が難しくなる ・地域の衰退 ・放課後児童クラブの場所	・通学が不便（他1） ・いじめが起きるのでは ・白岩の頃より手をかけてもらえなそう ・伝統文化や行事の継承（他2） ・放課後児童クラブ ・多人数になじむことができるか（他1） ・競争心が強そう ・校風の違い ・白岩の子どものクラス分け ・修学旅行の集金 ・体育着 ・PTAの関わりが薄そう（他1） ・角小側は統合をどう思っているか心配喜んでくれているのか ・形だけ統合しても、教育内容が今まで通りだとつまらない ・不安が大きく期待が思い浮かばない	・通学手段・時間（他2） ・地域との関わり、地区毎の行事が減る ・教員の確保 ・子どもの数が少ない	・通学距離（他1） ・地域力の低下（他1） ・人口の流出 ・新しい環境に溶け込めるか
期待	・民間人校長 ・オンライン授業 ・先生方の質に期待	・クラブ活動の選択肢が増える ・友達が増える ・適正人数で充実した学校生活を送れる ・人数が増えると、競争心や思いやりが高まるのでは	・多種多様な選択（他1） ・コミュニケーション力 ・学力やスポーツの向上 ・様々な経験（他1） ・PTA役員の負担減 ・統合して学校がなくなっても、地元に関心をもってもらいたい	・クラブ活動が増える ・部活動が活発になる（他1） ・友達が増える ・競争力の向上 ・白岩小の先生が角館小にいてほしい ・子ども達の柔軟性に期待します ・角館小に行ってもよかったと思いたい	・選択肢が増える ・活動の幅が広がる ・切磋琢磨しながら成長できる（他1） ・クラス替えができる	・選択肢が増える（部活・行事） ・子どもの交流の多様化 ・競争力、切磋琢磨 ・先生の質 ・豊かな自然体験を通して成長 ・仙北市の一体感、少数精鋭 ・市のコスト減→他に活用できる
その他	・希望する学校へ入学ができるような統合	・住みたい、子どもを育てたいと思える、病院・施設・地域づくり（人口を増やさないと時間稼ぎしかない）	・保育園の場所	・今まで通りの形だとつまらなく、市は何も変わらないと思う ・教育内容を刷新し、出生数を増やす ・ヤマメ・サクラマサプロジェクトのことを考えると、同じ教育内容を長く続けられた方がよい	・若い人が定住できる仕事があれば子どもが増えるかも ・新校舎建設なら、神小・中の隣接タイプが理想 ・「神代」の名前を残すなら、複式学級でもよい	・将来残る仕事を ・残りたい街なのか？ ・仙北市は何を目指すのか？

白岩地区のみ、「角館小との統合に関する心配と期待」を話し合った。